

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 上越森林管理署
所在地	新潟県糸魚川市
面積	974.82 ha
設定年	1974(S49)年
保護林の概要 (設定目的)	長柄山～三国境～蓮華山～白馬大池に連なる稜線で、ハイマツ及び白馬山系高山植物地帯(高山荒原雪田群落)を保全し、ライチョウ及びその生息環境を保護するため設定した。



ハイマツ群落(2019.09.12撮影)



ライチョウ成鳥♂(2019.09.26撮影)

モニタリング調査概要

実施年度	2014年、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、動物調査等
調査手法	森林詳細調査として、ライチョウが好んで利用する丈の低いハイマツ、その周辺の矮性低木が優占する風衝地において調査プロットを合計10箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に1つの調査ルートを設定し、保護林内における出現種を把握。
結果概要	多様な植生環境を必要とするライチョウの生息環境は良好に保たれていると評価される。白馬岳への登山ルートとして多くの登山者が利用する白馬大池～三国境への稜線部については、がれ場の広がりやハイマツ群落及び高山荒原雪田群落の衰退に留意した調査を実施し、生息環境の悪化を事前に察知していくことが重要である。ライチョウの天敵となる、テン、キツネの糞が確認されていることから、今後は、これらの天敵の個体数増加とライチョウの生息個体数の増減に留意し、ライチョウについては定量的な調査を行っていく事も必要と考えられる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。